

＜対策のポイント＞

国際連合食糧農業機関（FAO）動物衛生危機管理センターに専門家を派遣するとともに、世界における越境性動物疾病の危機管理体制の構築や発生時の対応に関する技術的支援並びに牛疫ウイルスの適正管理及び緊急用ワクチン供給体制整備による牛疫の再興防止を図ります。

＜政策目標＞

- 世界の越境性動物疾病のまん延防止による畜産物の安定生産
- 牛疫ウイルスの適切な集積・保管及び牛疫ワクチンの製造・保管による清浄性の維持

＜事業の内容＞

1. FAO動物衛生危機管理センターへの専門家派遣及び越境性動物疾病まん延防止 22（26）百万円

FAO動物衛生危機管理センターに専門家を派遣するとともに、同センターが行う以下の活動を支援します。

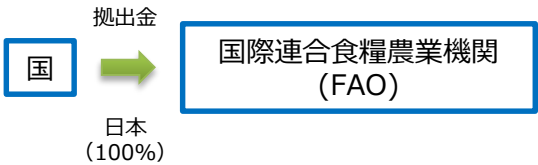
- ① 越境性動物疾病に関する情報収集・提供
- ② 危機管理体制の構築及び越境性動物疾病発生時の技術的助言
- ③ 専門家や周辺地域との連携強化及び技術課題解決のための会合及び演習の開催

2. 牛疫の清浄性維持体制整備 8（5）百万円

2011年に撲滅が宣言された牛疫の世界における清浄性維持を目的として、牛疫ウイルスの集積・保管及び牛疫ワクチンの製造・保管体制を整備します。

- ① 牛疫ウイルスの集積・保管
- ② 緊急用牛疫ワクチンの製造・保管

＜事業の流れ＞



＜事業イメージ＞

○ FAO動物衛生危機管理センターへの専門家派遣及び活動支援

- ① 疾病発生 of 早期検知、詳細な疫学情報の収集や共有等
- ② 事前の危機管理体制の構築及び発生時防疫措置に関する技術的助言を行う専門家チームの派遣
- ③ 緊急時の迅速な対応を可能とするための事前の連携会合や演習



（写真：専門家チームの派遣の様子、出典FAO）

○ 牛疫ウイルスの保管体制整備

- ① 牛疫ウイルスの特定施設への輸送・保管
- ② 万一の牛疫の発生に備え、ワクチンを提供する体制を整備



【お問い合わせ先】（1）大臣官房新興地域グループ（03-3502-5913）
（2）消費・安全局動物衛生課（03-3502-8295）